BASMAH BINT SAUD

- **Granddaughter of King Abdulaziz, founder of the Saudi state and youngest daughter of his son King Saud**

Topics

- Education
- Future
- Middle East
- Society

Basmah bintのSaud bin Abdulaziz al Saud王女は、1953年から1964年にかけてサウジアラビアを統治したSaud王の最年少の娘です。彼女は人生の最初の20年間を勉強し、世界を旅して過ごしました。 1976年に内戦がレバノンで勃発し、研究を終えたとき、彼女は母親と一緒にイギリスにやって来ました。 1983年、彼女と母親はシリアに移り、そこでベイルートアラブ大学で医学、心理学、英文学を学びました。

彼女は2006年にメディアとジャーナリズムの分野でキャリアをスタートさせた。その頃、彼女はAl-Madina、Al-Hayat、Al-Ahram Al-Masri、Al-Sayadityなどの新聞の記事を書き始めた。また、Independent、Berfabl、Argeninin、Yo Donnaマガジン、Vanity Fair、Huffington Postなどの国際店舗の記事でも取り上げられました。彼女の記事は地元およびアラブの社会問題に焦点を当てています。彼女は市民の懸念、社会問題、そして彼女の記事の中でこれらの問題を解決するために開発されたアイデアに非常に興味があります。

2011年から14年にかけての英国在住中、および人道問題と懸念についての一定期間の調査の後、彼女は第4ウェイ法を開始しました。 Fourth Way Lawは、21世紀に成功することができる代替憲法として、2014年にEU議会から認定を受けました。この憲法は、貧困の原因、緊張と分裂のルーツと闘うこと、そして世界の公法に取り組むことを目的としており、進化して現代の発展についていくように設計されています。

ロンドン在住中に、Princess Basmahは、世界的な人道的基盤であるThe Lanternsを設立しました。提灯を通して、グローバルユナイテッドリサーチアンドアナリシス、GURAが設立されました。これは、企業や機関向けの長期的なソリューションや戦略の開発を専門とするリサーチセンターです。

2013年、彼女はヨルダンとレバノンのシリア難民キャンプを含む中東のいくつかの場所を訪問し、シリア難民の生活に光を当て、彼らの危機に対する解決策を見つける手助けをしました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988